

「アルコール依存症に対する意識に関する世論調査」の概要

平成 28 年 9 月
内閣府政府広報室

- 調査対象 全国18歳以上の日本国籍を有する者 3,000人
有効回収数 1,816人（回収率 60.5%）
- 調査時期 平成28年7月28日～8月7日（調査員による個別面接聴取）
- 調査目的 アルコール依存症に対する国民の意識を把握し、今後の施策の参考とする。
- 調査項目 アルコール依存症について
飲酒とアルコール依存症の関係について
アルコール依存症に対する相談について

1 アルコール依存症について

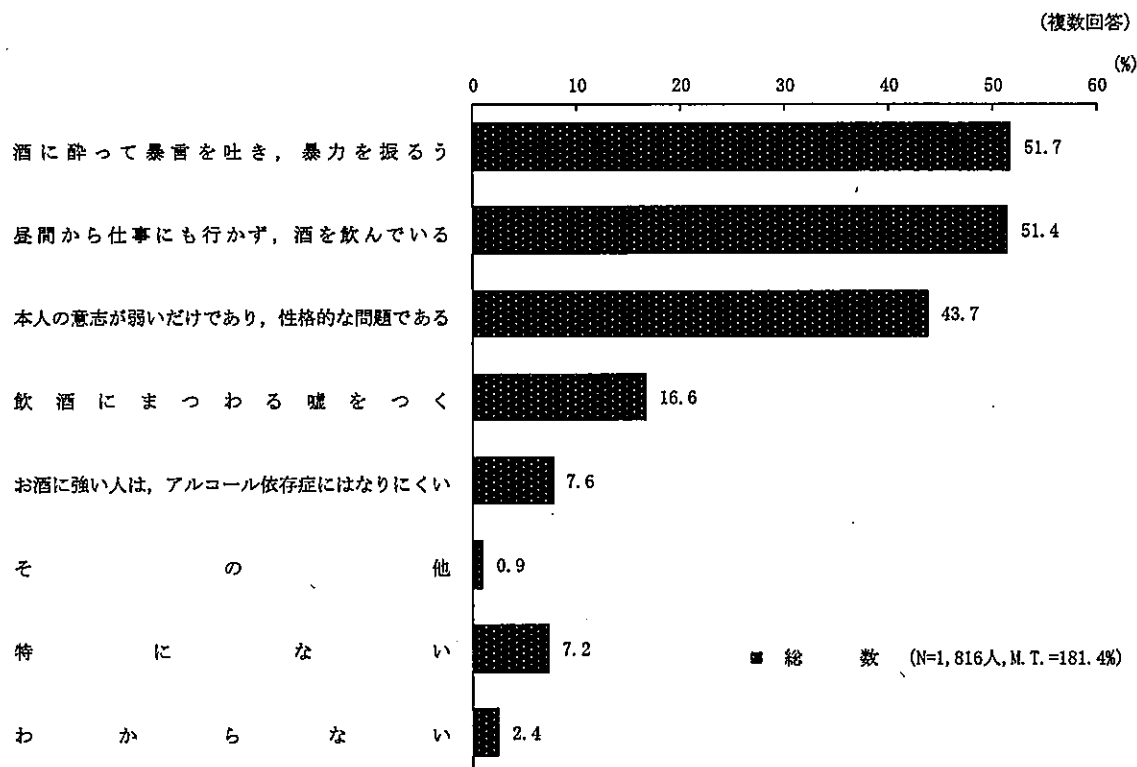
(1) アルコール依存症やアルコール依存症者に対するイメージ

問1 「アルコール依存症」という病気や「アルコール依存症者」については、社会的に偏見や誤解があるといわれています。次のようなアルコール依存症又はアルコール依存症者についての記載について、あなたの持っているイメージとして当てはまるものを、この中からいくつでもあげてください。

(複数回答, 上位3項目)

平成 28 年 8 月

- ・酒に酔って暴言を吐き, 暴力を振るう 51.7%
- ・昼間から仕事にも行かず, 酒を飲んでいる 51.4%
- ・本人の意志が弱いだけであり, 性格的な問題である 43.7%



2 飲酒とアルコール依存症の関係について

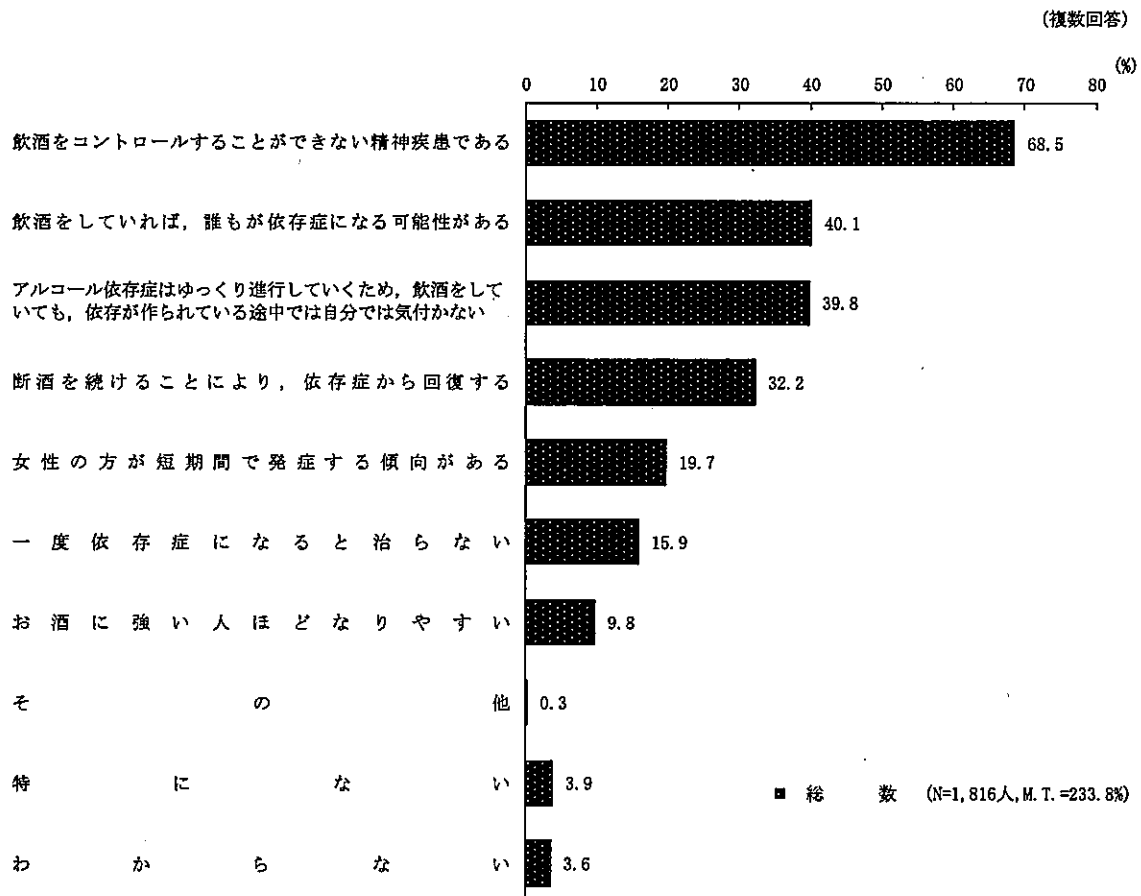
(1) アルコール依存症について知っているもの

問2 アルコール依存症についてのこれらの説明の中で、あなたの知っているものをいくつかあげてください。

(複数回答, 上位4項目)

平成28年8月

- ・ 飲酒をコントロールすることができない精神疾患である 68.5%
- ・ 飲酒をしていれば、誰もが依存症になる可能性がある 40.1%
- ・ アルコール依存症はゆっくり進行していくため、飲酒をしていても、依存が作られている途中では自分では気付かない 39.8%
- ・ 断酒を続けることにより、依存症から回復する 32.2%



3 アルコール依存症に対する相談について

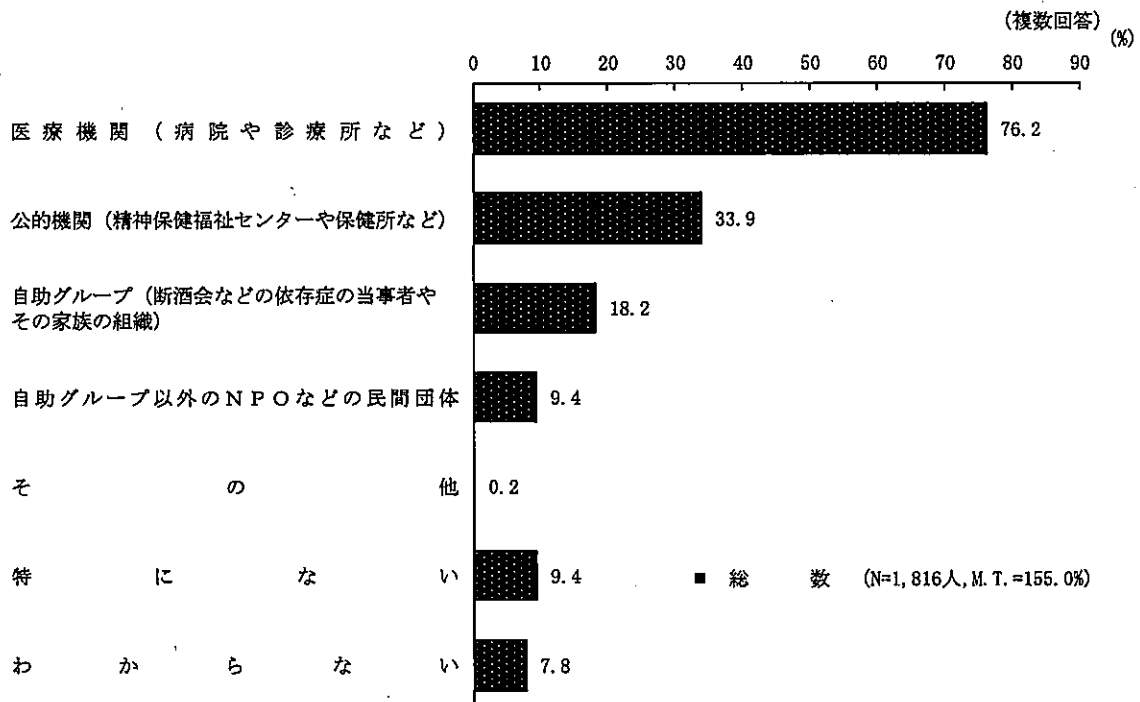
(1) 相談できる場所として知っているもの

問3 あなたやあなたの家族にアルコール依存症が疑われる場合に、相談できる場所として知っているものを、この中からいくつでもあげてください。

(複数回答, 上位2項目)

平成28年8月

- ・医療機関（病院や診療所など） 76.2%
- ・公的機関（精神保健福祉センターや保健所など） 33.9%



ア 具体的に知っている相談場所

更問（問3で「相談できる場所を知っている」と答えた者（1,502人）に）

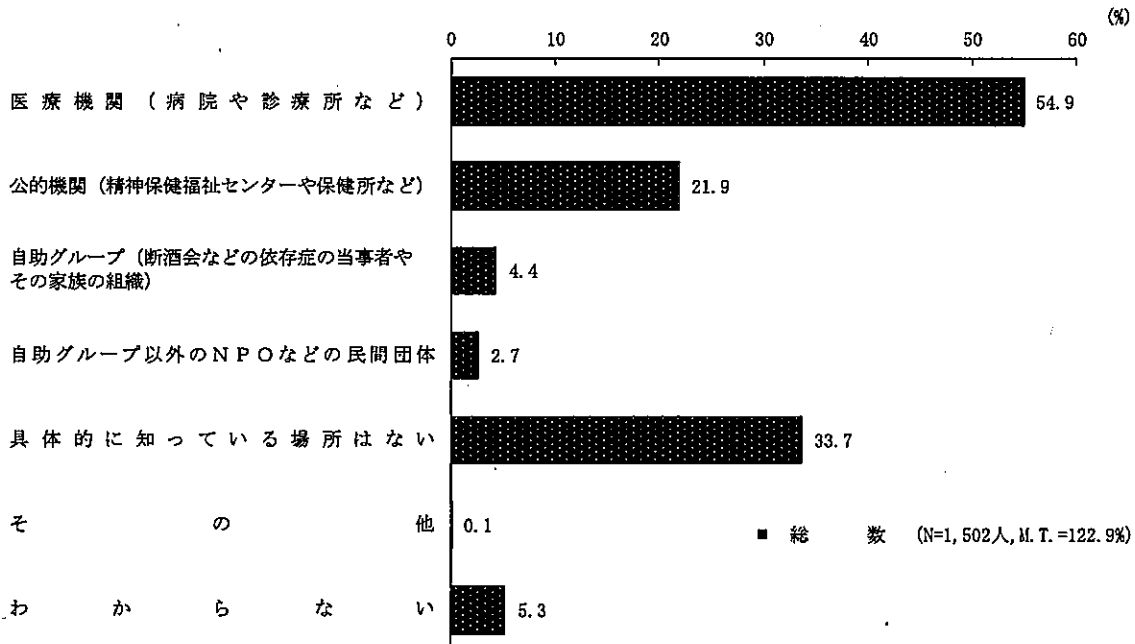
あなたのお住まいの地域で、相談できる場所として具体的に知っている場所がありましたら、この中からいくつでもあげてください。

（複数回答，上位2項目）

平成28年8月

- ・医療機関（病院や診療所など） 54.9%
- ・公的機関（精神保健福祉センターや保健所など） 21.9%
- ・具体的に知っている場所はない 33.7%

〔本人や家族にアルコール依存症が疑われる場合に、相談できる場所を知っていると答えた者に、複数回答〕

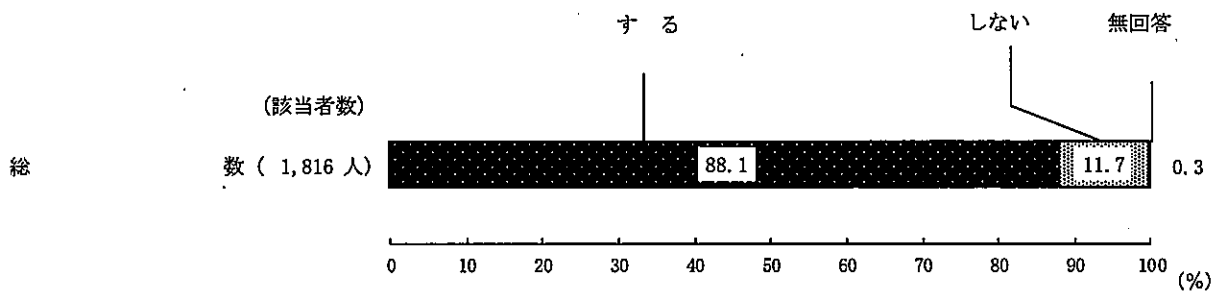


(2) アルコール依存症が疑われた場合相談するか

問4 あなたやあなたの家族にアルコール依存症が疑われる場合、相談窓口を知っていれば、相談しますか。

平成 28 年 8 月

- ・する 88.1%
- ・しない 11.7%



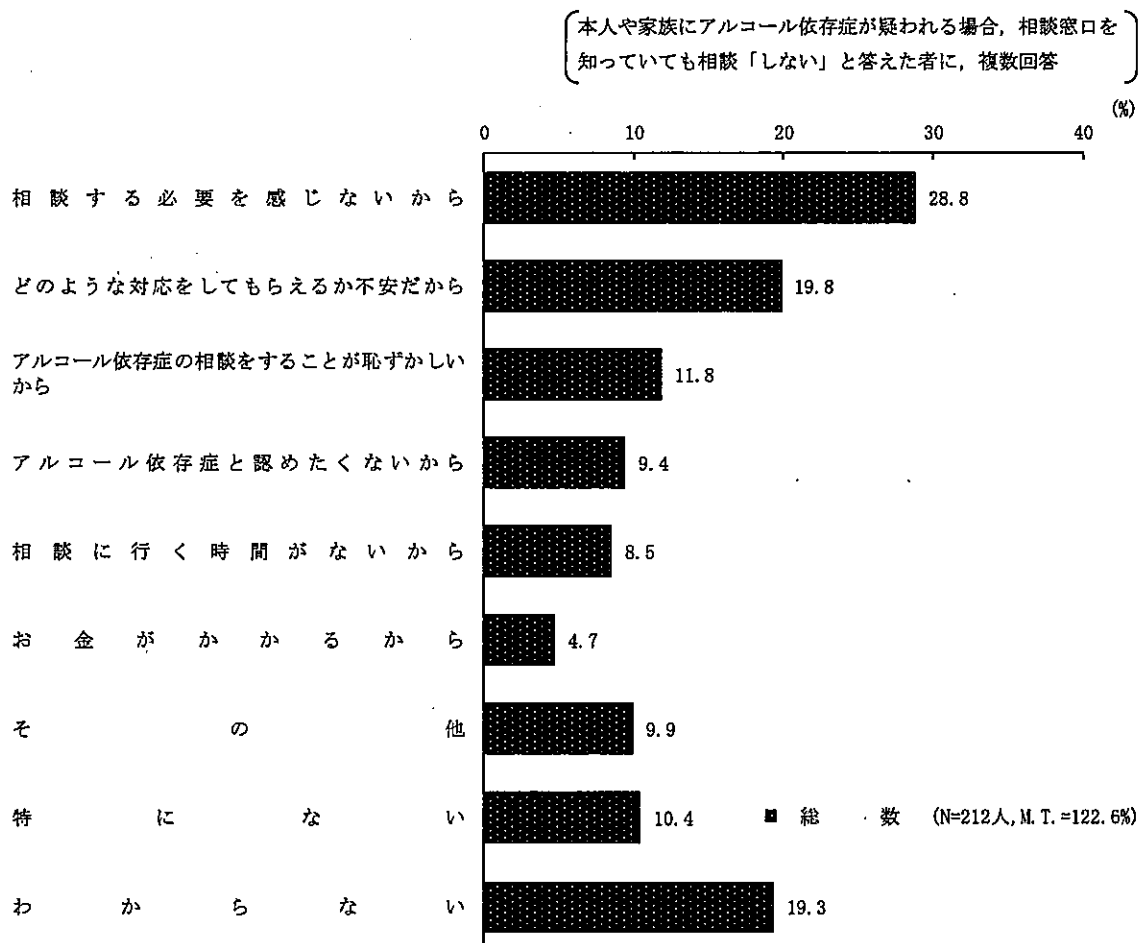
ア 相談しない理由

更問（問4で「相談しない」と答えた者（212人）に）
 相談しない理由を、この中からいくつでもあげてください。

（複数回答，上位2項目）

平成28年8月

- ・相談する必要を感じないから 28.8%
- ・どのような対応をしてもらえるか不安だから 19.8%
- ・特にない 10.4%
- ・わからない 19.3%



アルコール依存症に対する意識に関する世論調査

平成28年8月

調査時期：平成28年7月28日から平成28年8月7日
調査対象：全国18歳以上の日本国籍を有する者3,000人
有効回収数(率)：1,816人(60.5%)

1. アルコール依存症について

Q1【回答票1】「アルコール依存症」という病気や「アルコール依存症者」については、社会的に偏見や誤解があるといわれています。次のようなアルコール依存症又はアルコール依存症者についての記載について、あなたの持っているイメージとして当てはまるものを、この中からいくつでもあげてください。(M. A.)

- (43.7) (ア) 本人の意志が弱いだけであり、性格的な問題である
- (51.7) (イ) 酒に酔って暴言を吐き、暴力を振るう
- (51.4) (ウ) 昼間から仕事にも行かず、酒を飲んでいる
- (7.6) (エ) お酒に強い人は、アルコール依存症にはなりにくい
- (16.6) (オ) 飲酒にまつわる嘘をつく
- (0.9) その他 ()
- (7.2) 特にない
- (2.4) わからない

(M.T.=181.4)

2. 飲酒とアルコール依存症の関係について

Q2【回答票2】アルコール依存症についてのこれらの説明の中で、あなたの知っているものをいくつでもあげてください。(M. A.)

- (68.5) (ア) 飲酒をコントロールすることができない精神疾患である
- (39.8) (イ) アルコール依存症はゆっくり進行していくため、飲酒をしても、依存が作られている途中では自分では気付かない
- (40.1) (ウ) 飲酒をしていれば、誰もが依存症になる可能性がある
- (15.9) (エ) 一度依存症になると治らない
- (32.2) (オ) 断酒を続けることにより、依存症から回復する
- (9.8) (カ) お酒に強い人ほどなりやすい
- (19.7) (キ) 女性の方が短期間で発症する傾向がある
- (0.3) その他 ()
- (3.9) 特にない
- (3.6) わからない

(M.T.=233.8)

3. アルコール依存症に対する相談について

Q3【回答票3】あなたやあなたの家族にアルコール依存症が疑われる場合に、相談できる場所として知っているものを、この中からいくつでもあげてください。(M. A.)

(76.2)	(ア) 医療機関 (病院や診療所など)	
(33.9)	(イ) 公的機関 (精神保健福祉センターや保健所など)	
(18.2)	(ウ) 自助グループ (断酒会などの依存症の当事者やその家族の組織)	
(9.4)	(エ) 自助グループ以外のNPOなどの民間団体	
(0.2)	その他 ()	→ (Q4へ) (M.T.=155.0)
(9.4)	特にない	
(7.8)	わからない	

(Q3で(ア)～(エ)と答えた方に)

SQ【回答票4】あなたのお住まいの地域で、相談できる場所として具体的に知っている場所がありましたら、この中からいくつでもあげてください。(M. A.)

(N=1,502)

(54.9)	(ア) 医療機関 (病院や診療所など)	
(21.9)	(イ) 公的機関 (精神保健福祉センターや保健所など)	
(4.4)	(ウ) 自助グループ (断酒会などの依存症の当事者やその家族の組織)	
(2.7)	(エ) 自助グループ以外のNPOなどの民間団体	
(33.7)	(オ) 具体的に知っている場所はない	
(0.1)	その他 ()	→ (M.T.=122.9)
(5.3)	わからない	

(全員の方に)

Q4 あなたやあなたの家族にアルコール依存症が疑われる場合、相談窓口を知っていれば、相談しますか。

(88.1)	(11.7)	(0.3)
する	しない	無回答

(Q4で「しない」と答えた方に)

SQ【回答票5】相談しない理由を、この中からいくつでもあげてください。(M. A.)

(N=212)

(8.5)	(ア) 相談に行く時間がないから	
(19.8)	(イ) どのような対応をしてもらえるか不安だから	
(11.8)	(ウ) アルコール依存症の相談をすることが恥ずかしいから	
(28.8)	(エ) 相談するのを感じないから	
(9.4)	(オ) アルコール依存症と認めたくないから	
(4.7)	(カ) お金がかかるから	
(9.9)	その他 ()	→ (M.T.=122.6)
(10.4)	特にない	
(19.3)	わからない	

